

都市再生整備計画 事後評価結果
辻堂駅周辺地区

平成24年3月
神奈川県藤沢市

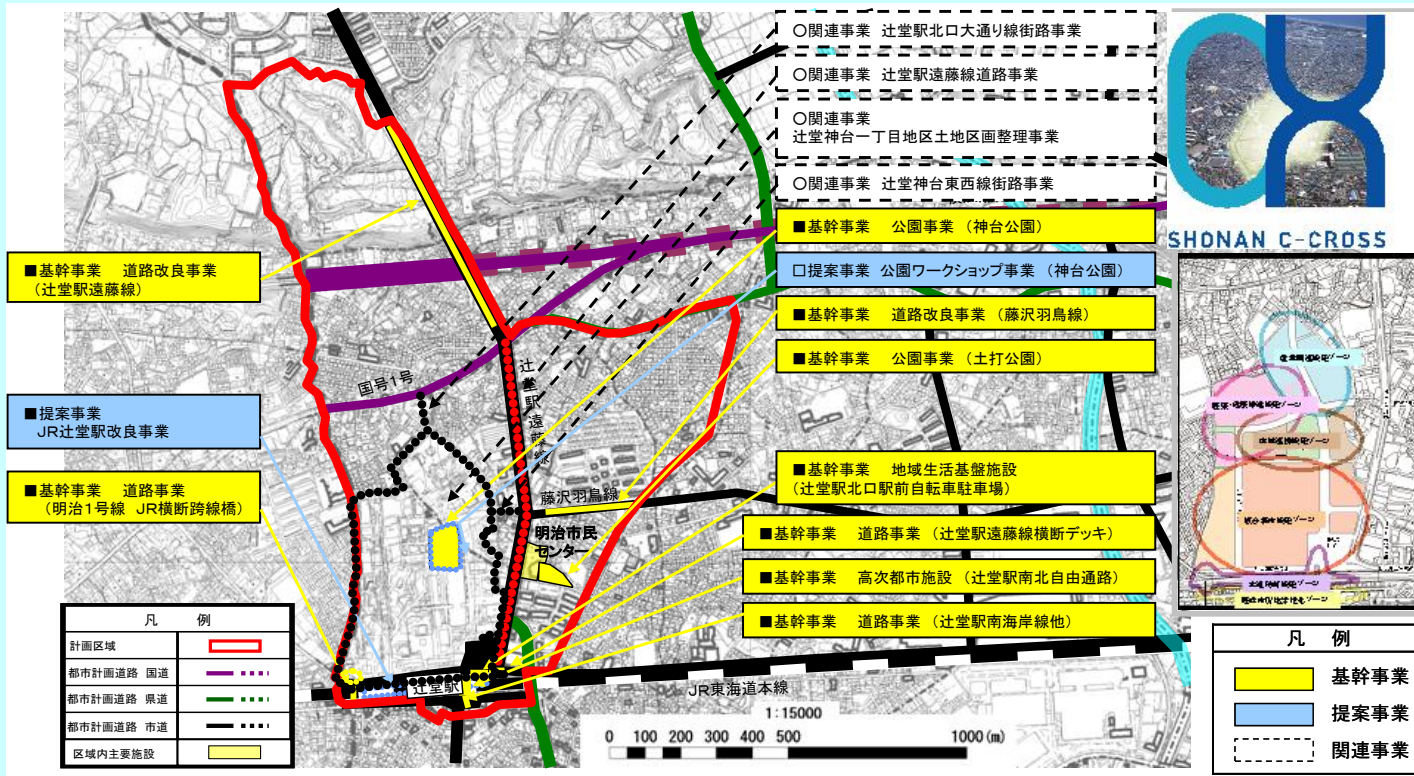
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	藤沢市		地区名	辻堂駅周辺地区			面積	127ha	
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	5,045百万円	国費率	0,403			
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】辻堂駅遠藤線、藤沢羽鳥線、明治1号線、辻堂駅遠藤線横断デッキ、辻堂駅南海岸線他【公園】神台公園、土打公園 【地域生活基盤施設 自転車駐車場】辻堂駅北口駅前自転車駐車場【高次都市施設 人工地盤】辻堂駅南北自由通路									
		提案事業	【地域創造支援事業】JR辻堂駅改良事業 【まちづくり活動推進事業】公園ワークショップ事業									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設 自転車駐車場】辻堂駅北口自転車駐車場		事業見直しによる削除			指標1(駅乗降客数)に関連するが、指標及び数値目標は据え置く				
		提案事業	【地域創造支援事業】企業立地奨励事業		事業見直しによる削除			指標2(従業者数)に関連するが、指標及び数値目標は据え置く				
新たに追加した事業	基幹事業	-										
交付期間の変更	当初	平成19年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み		
	指標1	駅乗降客数	人/日	90,000	H15	123,700	H23	125,169	○	あり なし	土地区画整理事業やデッキ等の駅周辺整備等により、物販・居住・福祉等の施設が立地し、多様な都市機能の集積がなされ、駅乗降客数の増加につながった。	平成26年3月
	指標2	従業者数	人	7,703	H13	15,400	H23	13,403	△	あり なし	社会経済情勢より施設立地が遅れ、目標達成には至らなかったが、土地区画整理事業やデッキ等の駅周辺整備等により、物販・居住・福祉等の施設が立地し、新たな雇用機能が創出され、従業員数の増加に効果があった。	平成25年6月
指標3	居住者人口	人	3,170	H17	5,470	H23	4,736	△	あり なし	社会経済情勢より住宅建築が遅れ、目標達成には至らなかったが、安全で快適な都市基盤が整い、駅へのアクセス性が高く、かつ、多様な機能が集積した利便性の高い住宅地が創出されたことで、居住人口が増加した。	平成25年6月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み		
	その他の数値指標1	都市機能集積数	機能	7	H17			27			多様な機能を持つ都市拠点の形成を目指し、土地区画整理事業に取組むとともに、デッキ等の駅周辺整備を行ったことにより、物販・居住等の多様な都市機能が集積するという効果発現が見られ、魅力的な都市拠点の形成に寄与した。	平成25年6月
	その他の数値指標2	居住世帯数	世帯	1,348	H17			1,967			土地区画整理事業により安全で快適な都市基盤が整い、デッキ等の駅周辺整備により駅へのアクセス性が高く、かつ、多様な機能が集積した利便性の高い住宅地が創出されたことで、居住世帯が増加した。	平成25年6月
その他の数値指標3	緑化率	%	5.4	H17			14.0			公園や街路樹等の緑の増加に加え、持続的な運営体制の実現を目指し、「まちづくり調整委員会」を中心に進出企業との景観形成等の調整により積極的な宅地内緑化も行われ、快適な自然・都市環境創出されるとともに、公園に耐震性貯水槽等が整備され地域の防災機能も強化された。	平成25年6月	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 本計画による道路整備により、駅前から国道1号のアクセス性が向上した。 まちづくり調整委員会によるガイドライン等の策定及び事業者との土地利用計画や景観形成に関わる調整により、快適な自然・都市環境の都市拠点が形成されつつある。 これまで狭隘道路が多かった住宅地内の道路が拡幅され、緊急車両の走行が可能となり、地域住民の安全性が向上した。 都市拠点形成の一方で懸念される生活道路への通過交通の進入に対し、交差点等へのイメージジャンプの設置等が住民から提案されるなど、住民のまちづくりの意識が向上している。 											
5)実施過程の評価	実施内容											
	モニタリング	なし	実施状況									今後の対応方針等
	住民参加プロセス	・神台公園ワークショップ ・地域まちづくり会議・まちづくり調整委員会		<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 								
持続的なまちづくり体制の構築	・タウンマネジメント組織の立ち上げ検討		<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 									<ul style="list-style-type: none"> タウンマネジメント組織の立ち上げ・運営に関してバックアップする。 市有地に関しては、地権者として活動に参加する。

様式2-2 地区の概要

辻堂駅周辺地区(神奈川県藤沢市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
【目標】湘南C-X(シークロス)都市再生プロジェクトで魅力的な都市拠点を形成する。 ・産業・文化・生活を広域に連携する高度複合拠点を形成する。 ・地域・企業・市民の個性を創造する多様な機能を持つ都市拠点を形成する。 ・快適な自然・都市環境を創造する持続的な運営体制を実現する。	駅乗降客数	単位:人/日	90,000	H15	123,700	H23	125,169	H23
	従業者数	単位:人	7,703	H13	15,400	H23	13,403	H23
	居住者人口	単位:人	3,170	H17	5,470	H23	4,736	H23
	都市機能集積数	単位:機能	7	H17			27	H23
	居住世帯数	単位:世帯	1,348	H17			1,967	H23
	緑化率	単位:%	5.4	H17			14.0	H23



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺において、歩道及びデッキ等の整備により歩行者の安全性・利便性が向上した。 ・道路整備により既存の幹線道路(国道1号等)へのアクセシビリティが向上した。 ・地域の防災機能の強化に資する神台公園の整備や道路区域内の街路樹等の整備により、緑のオープンスペースの確保や緑のネットワークが形成され、地域住民の住環境・安全性が向上した。 ・まちづくり調整委員会により土地区画整理事業地内の土地利用・景観に関する調整が行われ、より良い都市環境が創出されつつある。 ・駅北口デッキ・辻堂駅南北自由通路・駅南口デッキが整備されたことにより、利便性が向上し、南北の往来が増えている。駅南口の活性化のためにも、既存の駅前広場(南口)の安全性や快適性の向上が必要である。 ・土地区画整理事業・駅周辺整備により、多様な都市機能が集積してきているが、それに伴い、駅利用者・来街者増加に伴う自動車交通量の増加及び自転車駐車場(ミニバイクを含む)の利用状況の変化への対策が必要。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・緑のオープンスペースについて、今後の公園の利用状況等を見極めながら適切な維持管理体制を構築する。 ・駅周辺における景観を維持するため、景観条例・広告物条例・地区計画等の法規制やまちづくりガイドラインにより、適切に指導していくとともに、辻堂駅周辺の街並みや景観等について一定のルールをつくり進出企業や地域住民主体のまちづくりを進める。 ・駅南口の安全性・利便性の向上させるため、駅前広場整備事業等による駅南口の歩行者の安全性・利便性の向上を図り、更に駅南北の交流促進を進める。 ・駅周辺の交通対策として、都市機能集積に伴う交通量の変化を把握するとともに、進出事業者による交通対策を把握し、必要に応じて交通渋滞の対策を検討する。 ・駅北口周辺の駐輪対策として、都市機能集積に伴う既存自転車駐車場の利用状況変化を把握するとともに、新たな施設に併設される自転車駐車場の利用状況を把握し、自転車駐車場(ミニバイクを含む)設置の検討を行う。